

かながわ子ども教室

ニ ュ ー ス 第69号

第18回 DAA 交流会開催さる

大竹 壽利



昨年3月に開催された DAA 交流会は、沈滞・低迷はなんのその当会関連の「かながわ子ども教室」の特別出演もあり未だ嘗てないほどの盛り上がりを見せたところでした。DAA に、「ダイヤかながわ交流会あり。」をアピールできたところでした。

今年度は、昨年9月1日に新宿文化センターで行われた抽選会では運良く希望の日時の予約が取れ、3月2日に向け、バタバタと準備に入りました。外部講師候補のお二人は、どちらも素晴らしいスピーチが聴けそうなので、さんざん迷った末に、この際会員スピーチの方を見送ってお二人の先生にお願いすることに決めました。

NPO シニア大樂の杉哲男先生は、三菱電機のご出身で退職後にシニアライフアドバイザー資格を取得されていますが、「明るく健やかなシニアライフのために」という講演と社会人落語家「三遊亭良太郎」として誠に見事な「西行・鼓ヶ滝」の一席を披露していただきました。高座や座布団・屏風などを用意した甲斐がありました。



三遊亭良太郎師による落語「西行・鼓ヶ滝」開演



講演・山野美容芸術短大 名誉教授 生山 匡氏

そして山野美容芸術短大の生山匡名誉教授は、明治生命体力医学研究所の主任研究員も務められた方で、「高齢社会を元気に生きる、その原則」というタイトルでのスピーチでした。緑茶やバナナがガン対策になる、健康に良いというような耳に優しい情報ではなく、元気でいるためには意識的に少し無理をすることが大切と説かれました。

両先生のスピーチの内容は、4月に発行予定の DAA 叢書に掲載し、多くの皆様に詳しくお知らせさせて頂く所存です。ご期待下さい。

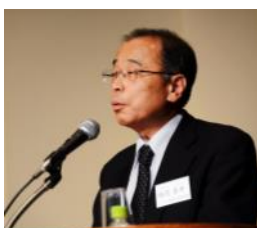
ダイヤビックの皆様には、大勢来場頂き会員へ実技指導頂きました。当会からも羽佐田・松野の両会員が参加されていました。

2時間40分があっという間に過ぎました。17時から2階のレストランモアにて懇親会を開催。「さわやか」の巖様の乾杯の挨拶にてスタート。DAA 会員同士の談話が進みました。持ち込

まれた名酒「獺祭」は、瞬く間になくなりました。1時間半の立食パーティの中締めは、「池袋」の近藤様の音頭で無事終了となりました。

今回は、講師を含めて総勢110名でした。そのうちDAA会員は96名で、なんとダイヤかながわからは31名の参加を頂きました。32%ということになります。会場費・講師謝礼等の負担があるために参加者が少なければ赤字に陥りますが、昨年に引き続き若干の繰越金を残せることになりました。ダイヤかながわの貢献度大でありました。

皆様方、本当にありがとうございました。厚く感謝申し上げます。



福達ダイヤ財団常務挨拶



みんなで「ダイヤピック」の時間、代表の紹介



第二部懇親会開始、(司会北原氏) 藤代委員長乾杯の挨拶

川崎市青少年フェスティバルに参加して

新井 清隆



川崎市こども未来局主催（市教育委員会共催）の川崎市青少年フェスティバルが、3月5日（日曜）に川崎市とどろきアリーナで開催されました。このフェスティバルは青少年育成推進委員会が実施しており、青少年自身の企画運営により、社会参加を図ることも目的としています。市の要請に応じ本年も「かながわ子ども教室」より23名が参加しました。

平成22年より「おもしろ科学実験教室」として参加し、かながわ子ども教室におけるメインイベントの一つとなっています。今年も、「海洋」「環境」「光学」「電気」の4教室を会場エントランスで開催しました。



川崎市青少年育成連盟はこども会連盟、ガールスカウト、ボーイスカウト、海洋少年団等が所属しており、これら所属の方々が趣向を凝らしたイベントを行っていました。我々のブースには開始時間の10時半を待たず来場し始めて、終了時間の15時半まで5時間以上、途切れることのない来場者の対応に悲鳴を上げるほどで、約1500の方が来場しました。私は「環境」「海洋」の教室は既に経験していましたが、「光学」と「電気」は初めてであり、サポートをしながら自身でも新たな驚き

を体験しました。帰り際の子ども達の「ありがとうございました」との挨拶は気持ちの良いものでした。午前中に福田市長が来場され、4教室ともに時間をかけて熱心に体験して頂いた。同伴の関係者がしきりに時間を気にするほどであった。

このフェスタがきっかけで、昨年より市の寺子屋事業に参加することとなり、すでに2教室を開催しています。寺子屋事業は福田市長が積極的に取り組んでいる事業で、趣旨は「学ぶ意欲の向上と豊かな人間性の形成を図る」「地域ぐるみでサポートする仕組づくり」「シニア世代等地域人材の知識と経験を活かす」です。当教室の趣旨に類似する部分があり今後も積極的に参加していく方向です。



福田市長も来場



川崎市青少年フェスティバル 2017. 3. 5

<かながわ子ども教室> (勝浦)

平成28年度の活動の主なトピックスを以下にご紹介します。

①教室開催

●学童クラブ、放課後キッズ、はまっ子ふれあいスクールなどの放課後の教室、小学校の正規授業、理科・科学クラブ、地区センター、児童相談所などでの教室、各地のフェスタへ参加しての教室等々を合計すると年間145回（昨年度139回）の予定です。

昨年度に引き続き、鳥が丘小学校で正規授業として9コマの授業を担当しました。4年生、5年生、6年生の全クラスに、それぞれ「宇宙教室」、「日本の食べ物教室」、「お金教室」を3日間にわたって行いました。また、逗子の小坪小学校では、PTA主催の時間帯で5年生対象に「気象教室」を2コマ担当しました。

●新しい教室（教科）

今年度は「まわれ！浮沈子」「私たちと水」がリニューアル開設され、順調に展開されています。新しい教科の開設は、当かながわ子ども教室のエネルギーの維持・向上に大きく貢献するものです。また、既存の各教室も、開催後の反省会などの意見を参考に、内容のブラッシュアップに努力しています。

②実行委員会

平成28年4月度の第150回から平成29年3月の第161回まで毎月開催し、毎回30-35人が参加しています。ただし、8月は台風接近のため会議は中止し、メールにて報告・審議を行った。教室開催計画とサポーター・映写機材(パソコン、プロジェクター)の受け渡しの調整の他、教室内容の向上案件等のさまざまな重要事項を議論・決定している。

③外部への展開

NPO法人きらめきライフ多摩との連携は順調に推移しています。ねんりんピック長崎2016でも昨年に引き続き、ブース内に「水族館」の出展協力を頂きました。